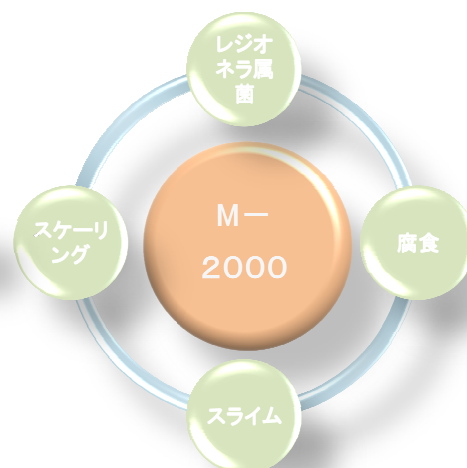


コントライムM-2000

4つの障害を抑制



当社が上市した空調用冷却水系総合水処理剤「コントライムM-2000」シリーズは、非ヒドロラジンタイプの一液型総合水処理剤でP R T R法指定物質を含まず、また変異原性が陰性という特長がある。加えて、一液で腐食防止・スケール防止・スライム抑制の三つの機能を持つとともに、レジオネラ属菌の増殖を制御する機能も備えている。

この度、業界初の一液タイプの総合水処理剤を商品化し、広範な水処理ニーズに対応した単一機能タイプの商品も品揃え、市場から高い評価を得ている。

当社は顧客や代理店の立場を理解し、独自の充実した技術サービスとメンテナンスを実施して的確で最適な水処理管理を提案、提供している。

「近年、省エネルギーの推進や環境保全が重要なテーマとなっているが、一つの例をあげれば冷凍機の高性能化が進み、その運転管理パターンが従来と比べ変化してきており、その省エネコンセプトに合った最適な水処理を提供している」（藤本和富常務取締役）。同社は、自動薬注装置にも注力し拡販に取り組んでいる。「ダイヤフィーダ・BFシリーズ」だが、同シリーズは、薬注ポンプ、導電率コントローラー、操作盤、薬液タンクを一体化した多機能ユニットである。インターバル制御、過間プログラム制御、リピート制御、補給水量比例制御などが可能な多機能タイマーを内蔵し、水処理剤の機能に適した薬注制御を実現。省スペースで設置でき、長期間安心して使用できる。

「コントライムM-2000シリーズは、原液をそのまま薬注ポンプによって所定量を冷却塔水槽または冷却水配管へ連続的に注入。使用開始時、冷却水系の保有水量に対して200mg/L相当量を冷却塔水槽に投入し、冷却水系内のコンディションを整える。補給投入処理は、標準使用量が補給水量に対して50mg/L。酸性の液体品であるため、原液接液部は耐酸性樹脂またはステンレス材を使用していきたい」（同）。

「水処理剤の需要構造は大きく、産業用、空調用の二つに分けることができる。とりわけ産業用は、景気回復のきざしが見えはじめたものの落ち込みは続いている。一方、空調用は、建物やビルは景気にあまり左右することなく冷暖房空間は必要不可欠であり、落ち込みは小さい。当社としては、これまで以上に新商品の開発を含め、顧客が求める要求に対応できるソリューション提案をしっかりとやっていきたい」